

大垣北高同窓会報

第39号

平成30年9月1日発行
大垣北高関東同窓会事務局
東京都中央区日本橋小網町
18-20-1005

TEL:03-3941-1612

会長挨拶

今年もまた梅雨の季節になり鬱陶しい毎日でございますが皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。

思い起こせば、それまで長きに亘り会長を務めて下さっていた渡辺三鶴氏の突然の訃報に接し、残された私どもは右往左往した挙句に、急遽不肖私が会長代行をさせて頂くようになってから、早いものでもう4年の歳月が流れてしまいました。40年以上の伝統ある大垣北高同窓会を継続し発展させていかなければと頑張つてまいりましたが、遺憾ながら世の中の流れと共に会員数の減少が顕著になり危機感をもつに至りました。

そこで役員全員で忌憚のない意見交換をし、まず今年の総会から変えてみたらということになり、下記のような改革案を鋭意検討中でございます。

①従来の立食形式ではなく、着席ビュッフェ形式で行ってみる。
②現在関東で勉強中の学生さんたちとの交流を図る。

また、毎年来賓としてご出席をいただいている大垣北高校長は今年から新しく赴任なさいました増田俊彦校長先生と、本校同窓会会長安田隆夫様にご出席くださることになっております。

また、今年の当番幹事の皆様は会報の発行と総会の準備にと張り切つて下さっています。

尚、今後の同窓会の活動や会報のより良い発展のために、皆様のご意見ご要望などございましたら是非ともお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

平成三十年六月

大垣北高関東同窓会 会長 大石アケミ



幹事回生から



新川 政信

(二十一回生)

昭和26、27年生まれの我々は、発起人役だった同期生が逃げ出したことで、断るのが苦手の私に、主幹事役が回ってききました。

幸い、大垣北高の生徒会長時代に、副会長として支えてくれた次郎丸哲也君、その縁でサッカー部主将だった若曾根靖久君、興文中出身の旧富(旧姓・川根)尚子さん、そして土井(同・道丸)恵子さんが協力を申し出てくれたため、何とか今秋の総会開催にこぎつけることができそうです。

北高への入学当時は出身中学校が違い、何の面識もなかった面々ですが、半世紀近い時間を越えて再び復活した友情の尊さを、改めて噛み締めている昨今といつてよいでしょう。

遅れてきた団塊の世代にあたる我々も、激動の社会人生活を経て、ようやく自分の周囲を見渡せるようになりました。今だ現役の同期生は多く、かく

いう私も介護分野の人手不足解消と高齢世代の働く場所の実現を目指した活動を展開中で、都内2カ所の事務所を中心に活動しています。

こうした機会に、一人でも多くの同期生が集まり、懐かしい顔ぶれとの再会はいかがでしょうか。新しい出会いもありますので、楽しみにお待ちしております。

大垣歴史散歩

土方歳三の最期を伝えた男

(大垣・船町の「奥の細道むすびの地」碑の近くに、大垣藩主の戸田家ゆかりの全昌寺(大垣市船町2-21)がある。その墓地の一角にひっそりと建つ「市村家代々の墓」こそが、新撰組の土方歳三の最期を故郷に伝えた市村鉄之助ゆかりの墓である。

鉄之助は美濃大垣藩士の



藩主ゆかりの全昌寺は赤門が目印に

三男として生まれ、14歳だった慶応3年(1867)に兄と共に新撰組へ入隊する。明治維新を1年後に控えた



鉄之助ゆかりの「市村家代々の墓」

激動期で、年端もいかなことから、配属されたのが副長である土方の小姓だったと、これも元大垣藩士だった「島田魁英名録」にはある。土方からは、「頗る勝気、性亦怜悧」と評されていたようだ。

京を舞台にした新撰組は崩壊し、残った隊士は会津、福島、仙台へと転戦して蝦夷地へ到着する。鉄之助は立派に戦って死のうと決意していたに違いないが、土方の命令は、遺品を親戚の佐藤彦五郎家に届けるといふ思いもよらぬものだった。拒否すると、恐ろしい剣幕で怒鳴りつけ、無理やり脱出させたと言う。その時の遺品の一つが有名な土方の写真で、そこには記念に噛み締めた歯型が残っている。

新政府軍による函館総攻撃が始まっ

たのは明治2年(1869)5月11日。土方は馬上で敵の銃弾に倒れ、討死する。鉄之助が追求を逃れて、東京・日野にある佐藤彦五郎家の前にたどり付いたのは2ヶ月後だったと、同家の直系子孫の記録にある。

当時の彦五郎は新政府軍から命を狙われ、一家散り散りの逃亡生活。それでも土方の遺言どおりに鉄之助を匿い、その後の約2年間、読み書きの手習いや剣術の稽古をして過ごした。

やがて世間も落ち着いてきた明治4年、鉄之助は大垣に戻ってきた。ただし全昌寺の墓には兄の戒名が彫ってあったものの、鉄之助の記録はない。このため、その後については2説ある。

一つは墓の横の菩薩像の下に葬られたとの説。もう一説は前述の島田魁の親類・岸家の伝承で、西南戦争において西郷隆盛側につき、戦死したというものだ。

それによると鉄之助は兄の死後、最初は土方の仇を討つ為、五稜郭を攻めていた薩摩藩に近づいて西郷を狙ったが、人切り半次郎こと桐野利秋に気づ



本堂脇にひっそりと立つ「六十二人墓」

かれ、話を
するうち質
素な生活を
している桐
野に心酔。
桐野も又、
土方歳三の
元小姓と聞
き鉄之助を
可愛がり自

分の馬丁としてそばに置いた。そして鉄之助は明治10年の西南戦争に従軍し、兄と慕うようになった桐野利秋と共に戦死したと言われている。

事実ならばいかにも悲劇の剣士らしい話だが、さてどこまでが真実なのか？(どなたか事情をお知りの方は御教授願いたい)

全昌寺には、戊辰戦争で亡くなった大垣藩士を祀る「六十二人墓」が建っているほか、藩論を新政府帰順に大転換した当時の城代、小原鉄心の墓もある。三河以来の徳川家の臣だった大垣藩は鳥羽伏見の戦いまでは旧幕府軍に属していたが、急遽転じて政府軍側に

ついた。寝返りと見られてか、その後の戦闘では常に最前線におくられたそうだが。

兵制の洋風化に努めて、新政府軍からも頼りにされたのだろう。戊辰戦争後には新政府から賞典禄3万石が下賜された。褒美としては長州藩・薩摩藩・土佐藩に次ぐ水準で、もちろん譜代藩としては唯一である。

その見返りに戦死した先人達の思いに心情を寄せ、思わず頭が下がる。激動の時代に、その先行きを巡って苦闘した郷土の、先人の軌跡をたどる格好の歴史散歩として、御紹介したゆえんである。

次郎丸 哲也(二十一回生)



藩士の氏名は現在も読み取れる

母校だより

名大25人、早慶14人今春の大学合格者
大垣北高の今春の大学合格状況が明らかになった。中京圏の進学校の目標となる名古屋大学は25人(前年19人)、早稲田・慶応の両大学は14人(同16人)だった(合格者は現役・浪人の合計)。

それによると、根強い国立志向、地元志向を反映して、岐阜大学は51人(同52人)。昨年に1人出た東京大学の合格者は今年無かったものの、京都大学は7人で昨年と同じ。国立27大学の総計は157人だった。

私立大学は、同志社70人(同60人)、立命館95人(同110人)、関西学院7人(同10人)、関大10人(同31人)と相変わらずの西高東低で、南山大学は72人(同92人)だった。

一方、関東は早稲田が6人(同9人)、慶応が8人(同7人)。他の東京六大学は明治、法政が各8人で、立教2人(同1人)の順。

さらに東京理科大20人(同22人)の他、国立も筑波大と千葉大が各2人に、東京工大1人だった。

伝統の風揚げ大会



走り回って風揚げに熱中する生徒たち

川敷で開かれた。

参加するのは1、2年の生徒約640人全員。前年12月の風作り講習会に始まって、各クラスが3か月かけて制作したそれぞれ3点の風を持ち寄り、制限時間30分で滞空時間を競うものである。

集まった48点は平風や立体風の他、連風の中に動物やアニメキャラクターなどを描いた縦3辺×横2辺ほどの大風もあって、中には全長7辺と過去最大の作品も登場。先生の似顔絵風など思い思いに趣向を凝らした自作の風が上空高く舞い揚り、一際高い歓声が河川敷に上がった。

伊吹おろしの中、生徒達は走り回って風を揚げるが、他校は冬の行事としてマラソン大会を行うのが普通。このため他

校の生徒からは、ずいぶん羨ましがられるそうだ。

ますます活発な北高祭



応援合戦で練習の成果を発揮

3日間にわたる伝統行事の北高祭も、現代の若者気質を反映してか、年々派手かつ活気あるものになっている。

昨年9月に開催された「北高祭2017」は、文化祭初日の放課後に恒例のヤングフェスティバルが開かれ、合計2時間のバンド演奏で会場は満員御礼状態。2日目も3年4組がステージ上で劇の「恋は異なもの味なもの」を繰り広げ、会場の笑いを誘った。

最終日の体育祭開会式で、生徒会長の体操服が4つの団の団長から放たれた色水に染まるというのも、昔にはなかった趣向。名物の応援合戦では各団が練習の成果を発揮して、多くの観客の拍手を浴びた。日々の勉強の合間の、謳歌する青春の爆発。と云ってよいだろう。

われらが世代

北高9回生同期会

昭和33年に大垣北高を卒業した9回生は、現在も年に一回の同期会を開催して、活発な交流を続けている。

昨年7月5日に都内のホテルで開かれた同期会には、男性11人、女性10人と計21人が集まった。コース料理を前にして進むそれぞれの近況報告には、お互いに口を挟む仲間もあって笑いが絶えず、和気藹々の雰囲気。全員の報告が終わる頃には、気づかぬうちに2時間半の時間が経っていた。

9回生が同期会を始めたのは、大垣北高の関東同窓会に参加した同期生が気遣いの必要がない気楽な集まりをと、仲間内で話していた矢先、旧制大垣中学の45回生からの呼び掛けで、昭和57年に合同の懇親会を開いたのがきっかけだった。



和気藹々とした雰囲気同期会

平成5年からは9回生単独の同期会としてスタート。以降は毎年続けて、昨年まで計24回を数えている。



現在も元気な担任の榎原先生

仲間同士が電話で会合の日時を決めあった当時から、葉書による開催通知、そして往復葉書での返信と整備されるに連れ、参加者は首都圏から関東一帯、さらに仙台からも増えていく。同期生がメンバーだったホテル・ニューオータニや京王プラザホテルなど、一流どころを会場にしたのも人気の秘訣だろう。

活況の理由の一つは、当時の担任だった榎原武雄先生が毎回、元気に出席してくれることだ。先生にとっても最初の赴任先としての思い入れがあるのか、今もかくしゃくとしている。

さらに初期の懇親会や会場の設定などを主導してくれた故高橋昌弘氏の存在も大きい。

何より、「我々の世代は、校内で男女が口をきくことが皆無。それがかつての憧れ、マドンナと、時空を超えて語り合うことで、高校時代を取り戻そうとしているのでは」と云うのが出席者の一致した感想だ。

10分間の「思索の時間」

現在の北高では、昼休みの最後から5時間目までの10分間を「思索の時間」として設定しているそうだ。

ちょうど午後1時5分から15分まで、その間は廊下を歩くことを禁止。移動教室の場合は、その前に移動を済ませておかねばならない。

食後に脳と心の休息をとることで、午後の授業への集中力を高めることが狙いだ。うだが、その間は自分の席で昼寝をするか静粛に過ごすかは自由。何はともあれ全校一斉に他者との会話を断つことで、平常心を養おうというわけなのだろう。

大垣での9回生の集まりも約80人が出席するほど盛況で、現在では大垣と関東の同期会で互に行き来しあうなど、交流が活発である。

ただし、唯一の悩みは幹事の候補者が年々減っている点だ。毎年の幹事は男女一人づつとはいえ、昭和33年卒といえれば78、79歳。

「なァーに、仲間同士で助け合って幹事を支えますよ」。今年の開催は7月6日、相変わらず意気盛んである。

思い出のアルバム

写真の数々は、大垣北高120周年の記念誌から
 抜粋したほか、福澤賢治様（二十七回生）が撮影さ
 れた作品の中から掲載しました。



雪の能郷白山を背にした北高校舎（1973年冬）



新装なった北高校舎へ（2016年秋）



新制大垣北高の藤江町校舎（1960年）



個性的なのは昔から。1955年の体育祭



こちらは弁慶の扮装で。1955年の体育祭



夏の甲子園に初出場。
 準々決勝（ベスト8）まで進む（1951年）



学生服の正統派で応援（1975年）

立川技術経営研究所

代表 立川敬二 (北高九回生)

〒100-0003
東京都港区白金六-16-16-17-15

安田電機暖房株式会社

代表取締役会長 安田隆夫 (北高十九回生)

〒500-8404 岐阜市吉野町三丁目八番地
TEL・0558126418
FAX・0558126218

応用地質株式会社

取締役常務執行役員 天野洋文 (北高三十五回生)

〒100-8464 東京都千代田区神田美土代町七番地
TEL・0315577145
FAX・0315577145
メール・sano-hirofumi@oyonei.co.jp

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

弁護士 古田啓昌 (北高三十五回生)

〒100-8236 東京都千代田区大手町一-1-1
大手町パークビル
TEL・0316775110
FAX・0316775120

一般社団法人 吉村やすのり生命の環境研究所

代表理事 東京岐阜県人会会長 吉村泰典
慶應義塾大学名誉教授

〒100-0061 東京都千代田区平河町一-15-15
TEL・0333511215
FAX・0313512156

日電精密工業株式会社

取締役 吉田圭二 (北高四十二回生)

〒501-8208
岐阜県大垣市三塚町三三六一-1
TEL・0558418116
FAX・0558418177

株式会社フジメディアテクノロジー

取締役 井上武典 (北高二十六回生)

〒100-0064 東京都港区青海一-1-20
TEL・0315550010
FAX・0315550096

川西工業株式会社

代表取締役社長 川本裕明 (北高四十五回生)

〒501-3302 岐阜県安八郡神戸町一七五三-15
TEL・0558412713
FAX・0558412718

矢橋工業株式会社

代表取締役会長 矢橋慎哉 (北高十六回生)

〒501-3133 岐阜県大垣市赤坂町二七六
TEL・0558417100

清水弘之税理士事務所

所長 清水弘之 (北高十三回生)

〒100-0003 東京都港区三田五-15-14
TEL・0315442118
FAX・0315442118

日本リファイン株式会社

代表取締役社長 川瀬泰人 (北高二十七回生)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二-11-1
岸本ビル十一階
TEL・0313201133
FAX・0313201133

公正証書遺言作成家族信託相談 松岡司法書士事務所

司法書士 松岡義明 (北高十三回生)

〒100-0064 東京都中央区日本橋小網町一八番二十
ウエラハイツ日本橋九〇五号
TEL・0313663157
FAX・0313667147

高木光雄 (北高七回生)

〒100-0065 東京都大田区東雲谷五-129-1
TEL&FAX・0313372913

日本耐酸塩工業株式会社

代表取締役会長 堤俊彦 (北高十七回生)

〒501-8566 岐阜県大垣市中曾根町六一〇番地
TEL・0558419116
FAX・0558419112

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

弁護士 大河内亮 (北高四十八回生)

〒100-8266 東京都千代田区大手町一-1-1
大手町パークビル
TEL・0316775112
FAX・0316775126

オギハラ測量設計有限公司

代表取締役社長 荻原千恵子 (北高九回生)

〒240-0053 華加市旭町一-1-18
TEL・0481931161
FAX・0481931108

株式会社三輪酒造

三輪恒久 (北高二十四回生)

〒501-8533 岐阜県大垣市船町四-48
TEL・0558417812
FAX・0558418122

株式会社金蝶園

北野香代 (北高十七回生)

〒501-8277 岐阜県大垣市郭町二-10
TEL・0558417812
FAX・0558418186

株式会社かい援隊本部 (60歳以上特化型人材会社)

代表取締役会長 新川政信 (北高二十一回生)

〒100-0008 東京都中央区八重洲一-17-20
八重洲口会館B2F

西田茂登美 (北高十回生)

〒210-0003 松戸市二十世紀が丘梨元町二-11
TEL・0471391119
携帯・09011854117

増田俊彦先生が北高の新校長に



大垣北高の校長に、今春に就任されたばかりの増田俊彦先生から、ご挨拶をいただきました。



初めまして。今年4月に校長として赴任しました増田俊彦と申します。昨年度は大垣工業高校の校長を務めておりました。2校続けて大垣市内の伝統校の校長として、地元で貢献できる機会を与えられましたことを、大変光栄に思うとともに、その重責を痛感しております。着任してから、多くの卒業生、地域や企業の関係者から、本校に対する熱い期待の言葉をいただきました。西濃圏域におけるリーダー育成を使命とする学校として、その期待に応えるべく鋭意努力してまいります。

さて、本校は、平成26年度に文部科学省から5年間のスーパー・グロージャー・ハイスクールの指定を受



桜を楽しんだ。写真
ヒガンザクラ系の巨木は、国指定天然記念物である根尾谷の淡墨桜から枝わけしたもの。全国的に桜の開花が早かった今年には十数名が参加し、食事とお酒の歓談に話の花を咲かせた。

け、「清流の国岐阜 アジアを学び世界をつなぐ千六百人のリーダー育成」をスローガンに、事業を実施してまいりました。課題研究の手法を体系的に学ばせ、アジアの課題を具体的に調査研究することを通して、グローバルに通用する課題解決力、論理的思考力、コミュニケーション力を育成しています。地域の大学、企業、自治体などにも御支援を仰ぎ、高い成果を収めてきました。事業終了後の来年度以降も「総合的な学習の時間」等において、これまで蓄積した教育資産を活用し、グローバル人材の育成に努めてまいります。

満開の淡墨桜を楽しむ

淡墨桜(ウスズミザクラ)の観桜会が3月24日、昨年に引き続き東京・八王子の岐阜県学生会館で開催されて、本会の会員が東京岐阜西濃会のメンバーと共に満開の桜を楽しんだ。写真

女性の輝きテーマに講演会

慶応大学医学部名誉教授で、岐阜県人会の吉村泰典会長が4月28日、東京・千代田区の都道府県会館で「女性が健やかに輝き続ける社会を目指して」と題して講演し、女性を中心に50名以上が詰めかけた。

その中で吉村会長は、豊富な知見から少子高齢化社会における女性の役割などを、医学的・科学的そして社会的に分かりやすく解説。テーマに惹かれて参加した女性陣は熱心に耳を傾けたが、その後の懇親会も古川雅典・多治見市長の特別参加があつて盛り上がり、大盛況だった。

東大ツアーで現役生と交流

大垣北高生による昨年8月の東京大学ツアーに、大石アケミ会長ら大垣北高関東同窓会の幹事が合流し、約20人の現役生徒と交流した。

同ツアーは東大のオープンキャンパスにあわせて、8月の2日間にかけて実施。一行が宿泊する東京・本郷の旅館では、大垣北高出身の現役東大生2人がキャンパス事情その他の説明・質問に応じていたが、その場に合流した大石会長らは関東同窓会の告知も展開した。